

## ■市民の健康づくりを支える取り組みと主な関係課・関係団体一覧表

平成30年3月末現在

| 第4章 健康増進計画 | 3.生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底   | 主な関係団体と関係課   |
|------------|---|--|
|            | <p>(1) がん</p> <p>がんと喫煙や飲酒・食事との関係、健康的な生活習慣に関する周知など、がん予防に関する正しい知識を普及します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康フェスタ、健康講話、ガン征圧月間・健康増進普及月間(9月)のイベント等に合わせパネル展示や広報誌への普及啓発を行う</li> </ul> <p>がんを予防するための生活習慣を推進します。</p> <p>行政及び関係機関は、市民ががん検診を受診しやすい体制整備に努めます。</p> <p>地域や事業所の職場健診・関係団体等と連携し、がん検診の受診率向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健診開始式</li> <li>広報や市民健康講座等での受診勧奨</li> <li>乳幼児健診などの働き盛り世代が集まる場所での受診勧奨</li> </ul> <p>行政はがん検診の精度管理に努め、関係機関と連携し、要精密検査者の精密検査受診率向上及び未把握者をなくす支援を徹底します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通知や電話等での勧奨</li> </ul> <p>広報や健康講座等で正しい情報を発信します。</p>               | <p>健康支援課<br/>ことちも健康課<br/>国民健康保険課<br/>委託医療機関<br/>各医療保使者<br/>商工会<br/>女性連合会<br/>自治会<br/>食生活改善推進員</p>                      |
|            | <p>(2) 循環器疾患</p> <p>乳幼児健診や学校・うるま市商工会等における、若い世代への健診受診勧奨や健康講話などを通じて、健康づくりの意識を高めるよう取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康フェスタ、健康講話、健康増進普及月間(9月)のイベント等に合わせパネル展示や広報誌への普及啓発を行う</li> </ul> <p>正しい血圧測定や自分で脈を測れるよう、知識の普及を図ります。</p> <p>健診を受けやすい環境(時間・場所・料金等)づくりに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健診開始式</li> <li>広報や市民健康講座等での受診勧奨</li> <li>乳幼児健診などの働き盛り世代が集まる場所での受診勧奨</li> </ul> <p>高血圧・脂質異常症・メタボリックシンドローム該当者等を減らすため、優先度の高い対象者を選定し、個人に合わせた資料を用いて保健指導を実施します。</p> <p>要医療対象者の病院受診率向上を図り、重症化予防に努めます。</p> <p>みんなの健康ささえ隊等と連携を図り、市民の主体的な健康づくりを支援します。</p> <p>健(検)診データの管理・分析を行い、その結果を市民に情報提供します。</p> | <p>健康支援課<br/>ことちも健康課<br/>委託医療機関<br/>各医療保使者<br/>商工会<br/>女性連合会<br/>自治会<br/>食生活改善推進協議会</p>                                |
|            | <p>(3) 糖尿病</p> <p>健診結果に基づき、市民一人ひとりを対象に糖尿病の発症予防を目的に保健指導(二次健診を含む)を行います。</p> <p>若い時期から自分の健康管理ができるよう、危険因子やその予防に関する知識を普及します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康フェスタ、健康講話、世界糖尿病デー(11月)のイベント等に合わせパネル展示や広報誌への普及啓発を行う</li> </ul> <p>要医療対象者の病院受診率向上を図り、重症化予防に努めます。</p> <p>医療関係者と連携し、糖尿病コントロール不良者の減少及び治療中断の防止に努めます。</p> <p>糖尿病連携手帳について周知に努めます。</p> <p>糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進します。</p>   | <p>健康支援課<br/>ことちも健康課<br/>国民健康保険課<br/>委託医療機関<br/>各医療保使者<br/>商工会<br/>女性連合会<br/>自治会<br/>食生活改善推進協議会</p>                    |
|            | <p>(4) 慢性腎臓病(CKD)</p> <p>CKD及びその予防に関する正しい知識の普及啓発に努めます。</p> <p>生活習慣改善(減塩など)に取り組みやすい環境整備に努めます。</p> <p>「CKD診療ガイド」(※)等に基づき、健診結果から保健指導対象者を明確にし、医療機関との連携のもと、一人ひとりに応じた保健指導を実施します。</p> <p>未治療者や治療中断者へ、医療機関受診勧奨に努めます。</p> <p>CKD重症化予防にむけて、かかりつけ医及び腎臓診療医が連携し、CKD病診連携を推進します。</p>   | <p>健康支援課<br/>ことちも健康課<br/>国民健康保険課<br/>母子保健推進協議会<br/>食生活改善推進協議会<br/>中部地区医師会<br/>市内医療機関代表<br/>栄養士会<br/>薬剤師会<br/>協会けんぽ</p> |
|            | <p>(5) 慢性閉塞性肺疾患(COPD)</p> <p>各種健康事業の場で、禁煙支援や治療への個別指導、情報提供を行います。</p> <p>タバコのリスクに関する教育・啓発を行います。</p> <p>慢性閉塞性肺疾患(COPD)の発症とタバコとの関連について正しい知識を普及します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌、ホームページでの普及啓発</li> </ul> <p>新たな喫煙者が増えないことをめざします。</p> <p>公共の場や職場等での禁煙対策を推進します。</p> <p>未成年者の喫煙防止のために家庭や学校・地域と連携し、喫煙の低年齢化に対応した取り組みを充実します。</p>   | <p>健康支援課<br/>ことちも健康課<br/>国民健康保険課<br/>委託医療機関<br/>各医療保使者<br/>商工会<br/>女性連合会<br/>自治会<br/>食生活改善推進員</p>                      |







| 第4章 健康増進計画             | 市民の健康づくりを支える取り組み   | 主な関係団体と関係課   |
|------------------------|--|--|
| 4. 健康づくりを進める生活習慣の確立・改善 | (5) 喫煙<br><br>タバコが健康に与える影響等に関する知識や情報を提供し、学習機会の充実を図ります。<br><br>公共の場・職場等での禁煙対策を推進します。<br><br>禁煙方法や、禁煙支援体制のある医療機関等について、積極的に情報提供します。<br><br>新たな喫煙者が増えないことをめざします。<br><br>母子(親子)健康手帳の交付時等に、妊娠中の喫煙が胎児に与える影響について周知します。<br><br>未成年者の喫煙防止のために、家庭や学校・地域と連携し、喫煙の低年齢化に対応した取り組みを充実します。   | 健康支援課<br>国民健康保険課<br>ことども健康課<br>児童家庭課<br>保育幼稚園課<br>学務課<br>指導課<br>青少年センター<br>教育研究所<br>養護教諭会<br>総務課<br>職員課<br>介護長寿課   |
|                        |  | 社会福祉協議会<br>母子生活改善推進協議会<br>商工会<br>PTA連合会<br>自治会<br>青年会<br>医療機関<br>中部保健所   |
|                        | (6) 休養・ころ<br><br>適切な休養がとれるよう、健康教育を行うなど知識の普及に努めます。<br><br>一人で抱え込まず誰かに相談する意識や、相談相手を持つことの重要性、相談できる窓口や専門機関に関する周知を行います。<br><br>生活リズムを整え睡眠時間を確保することや、気分転換することの大切さなどについて周知を行います。  | 健康支援課<br>ことども健康課<br>ことども健康課<br>児童家庭課<br>保育幼稚園課<br>学務課<br>指導課<br>青少年センター<br>教育研究所<br>養護教諭会<br>介護長寿課<br>障がい福祉課<br>職員課<br>市民協働課   |
|                        | (7) 健康管理<br><br>市民が健康管理について見直すことや、セルフケア能力を習得・向上できるように支援します。<br><br>適正体重を維持するため、毎日の体重測定を推奨していきます。<br><br>正しい血圧測定の知識の普及に努めます。<br><br>適正血圧を維持するため、日常的な血圧測定を推奨していきます。<br><br>妊婦健康診査・乳幼児健診・生活習慣病予防健診・特定健診・がん検診・精密検査受診の必要性について啓発に努めます。また、市民が健診を受けやすい環境整備に努め、あらゆる機会を通じて健診受診を呼びかけます。<br><br>各種予防接種を勧奨します。<br><br>市民が健診結果を把握し、各々の状態に応じた適切な医療受診や生活改善といった行動がとれるよう、健診に基づく保健指導や健康講座等の事業を行います。 | 母子生活改善推進協議会<br>商工会<br>PTA連合会<br>自治会<br>社会福祉協議会<br>医療機関<br>中部保健所<br><br>健康支援課<br>国民健康保険課<br>ことども健康課<br>ことども健康課<br>保育幼稚園課<br>学務課<br>指導課<br>青少年センター<br>教育研究所<br>養護教諭会<br>学校給食センター<br>生涯学習振興課<br>農政課<br>商工観光課<br>介護長寿課<br>障がい福祉課<br><br>名委託機関<br>医療機関<br>医師会<br>自治会<br>社会福祉協議会<br>母子生活改善推進協議会<br>PTA連合会<br>協けんほ<br>商工会<br>女性連合会<br>中部保健所 |



| 第4章 健康増進計画   | 5. 健康を支え、守るための社会環境の整備   | 市民の健康づくりを支える取り組み  | 主な関係団体と関係課 |
|--|---|---|------------|
| <p>(1) みんなの健康ささえ隊</p> <p>(2) 地域に密着した健康づくりの展開</p> <p>(3) 健康づくりに取り組みやすい環境整備</p> <p>(4) 我が事・丸ごと地域共生社会との連携</p> | <p>自分や家族の健康づくりに役立つ学習・実践を通して、地域へ健康づくりを広げる役割を担う『みんなの健康ささえ隊プレミアム』を育成しています。今後、健康づくりに関係する多様な団体と連携し『みんなの健康ささえ隊』活動の推進を支援していきます。</p> <p>【みんなの健康ささえ隊とは】健康教室などで得た知識を自分だけで留めておくのではなく、みんなで健康になろう！という意識をもって、家族や知人・周囲の人に広めていくという動きを、市民一人ひとりがとる。それが「健康ささえ隊」です。</p> <p>健康教室や健康相談会・食や運動に関する講演会・地域の住民が気軽に参加できるイベントの開催など、地域における総合的な健康づくりの展開を通じて、地域で健康を支える力の向上を目指します。</p> <p>日常的に食・栄養を支援する環境づくりの取り組みとして、ちゃーがんじゅう応援店や商工会等との連携に努めます。</p> <p>日常的に体を動かす、運動の習慣化を支えていけるよう、健康づくりへの支援という視点に立って歩道・公園等の環境整備の充実を図ります。</p> <p>市民の健康づくりに関して、わかりやすい情報の発信に努めます。</p> <p>市民一人ひとりが「他人事」ではなく『我が事』として捉え、健康を互いに支え合う意識を持てるよう支援します。</p> <p>庁内関係課及び関係機関等とともに、地域福祉と連携した健康づくり、みんなの健康ささえ隊等を活かした支え合いの絆(ソーシャルキャピタル)づくりに努めます。</p> <p>健康づくりに関係する多様な団体と連携し『みんなの健康ささえ隊』活動の推進を支援していきます。</p>   | <p>健康支援課<br/>国民健康保険課<br/>子ども健康課<br/>子ども未来課<br/>保育幼稚園課<br/>学務課<br/>指導課<br/>青少年センター<br/>教育研究所<br/>養護教諭会<br/>給食センター<br/>生涯学習振興課<br/>農政課<br/>商工観光課<br/>介護長寿課<br/>障がい福祉課<br/>自治会<br/>社会福祉協議会</p> <p>母子保健推進協議会<br/>食生活改善推進協議会<br/>PTA連合会<br/>各医療提供者<br/>商工会<br/>女性連合会<br/>自治会</p> |            |
| <p>基本目標1<br/>すべての妊産婦が安心・安全に過ごし、赤ちゃんが元気に生まれ育つ</p>   | <p>1：妊娠中の生活を、健やかに過ごすことができる(低出生体重児が減少する)</p> <p>2：心身の変化が大きい産前・産後に、必要な相談・サポートを受けることができる</p> <p>11週以内の届け出、妊婦健康診査の公費負担について周知します。</p> <p>母子(親子)健康手帳の交付時等、安心・安全な出産をするために妊婦自身の健康管理について啓発します。</p> <p>妊娠中のタバコの害について啓発します。</p> <p>母性健康管理指導事項連絡カードの利用について周知します。</p> <p>妊娠前から乳幼児期にかけての健康に関する知識や子育て情報を周知するため、うま市子ども健康応援BOOK「だいたすき」を、子育て家庭に配布します。</p> <p>マタニティ教室など、妊産婦が相談を受けられる機会を提供します。</p> <p>子育て世代包括支援センターを設置し、すべての妊産婦に対して切れ目のない支援を行います。</p> <p>母子保健推進員の確保、並びに活動内容を周知します。</p> <p>児童館や子育て支援センターと連携し、すべての子育て家庭が孤立しない環境づくりに取り組みます。</p> <p>医療機関や関係機関との連携を強化し、問題を抱える妊産婦に対する適切な保健指導を行います。</p> <p>望ましい生活リズムの重要性について啓発します。</p> <p>月齢・年齢に応じた食事の進め方を学べる機会を提供します。</p> <p>遊びや運動の大切さについて啓発します。</p> <p>むし歯予防の充実に向け、仕上げ磨きの重要性、フッ化物やフロスの利用等について啓発します。</p> <p>親などに対して、禁煙について啓発します。</p> <p>親などに対して、酒の席に乳幼児を同席させないよう啓発します。</p> <p>保育所や子育て支援センター、母子保健推進員等と連携し、乳幼児健康診査の受診を勧奨します。</p> <p>乳幼児の発育・発達や遊びについて周知します。</p> <p>予防接種の重要性について周知します。</p> <p>チャイルドシート使用、事故予防対策について啓発します。</p> <p>自分の健康を知り興味を持って、健康管理や生活リズムの重要性について啓発します。</p> <p>児童・生徒に対して、酒やタバコ、薬物に手を出させない、近づかせないための学習機会を提供します。</p> <p>思春期の身体と心について正しい知識が持てるよう学習の機会を提供します。</p> <p>男女が互いに尊重しあうことやいのちを大切にすることを学べる機会を提供します。</p> <p>思春期に妊娠した際の影響(周産期トラブルの危険性、学業の中断等)など、ライフプランを考える機会を提供します。</p> <p>性に関する悩みや不安への相談体制について、関係機関の連携を強化します。</p> <p>児童・生徒の頑張りを見つけほめることや、親子の会話の大切さなどについて、啓発します。</p> <p>自己肯定感を育むこと、夢や希望をもち、それに向かって進んでいくことの大切さについて啓発します。</p> <p>悩みを一人で抱え込まず、相談することの大切さを周知します。</p> <p>学童・思春期における相談窓口を周知します。</p> <p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携し、相談対応を充実します。</p> | <p>こども健康課<br/>母子保健推進員<br/>児童家庭課<br/>保育幼稚園課<br/>保育園<br/>子育て支援センター<br/>児童センター<br/>医療機関<br/>助産師会</p>   |            |
| <p>基本目標2<br/>乳幼児期から望ましい生活習慣を身に付け、親子ともに成長し、笑顔で過ごせる</p>  | <p>1：生涯の健康づくりの基礎となる望ましい生活習慣を獲得させる</p> <p>2：乳幼児の育ちや健康状態を把握する(乳幼児健康診査受診率の向上)</p> <p>3：乳幼児を感染症や事故から守る</p> <p>1：学童・思春期のこのころと心身に健康づくりに取り組む</p> <p>2：男女とも命を大切に育む性を生み育てる性を受けとめ、互いを尊重しながら、自分の将来について考えることができる</p> <p>3：児童・生徒の悩みに寄り添う地域づくり</p>  | <p>こども健康課<br/>母子保健推進員<br/>児童家庭課<br/>保育幼稚園課<br/>保育園・子育て支援センター<br/>児童センター<br/>医療機関<br/>助産師会</p> <p>こども健康課<br/>健康支援課(学童クラブ)<br/>教育委員会(学務課、指導課)<br/>教育研究所<br/>青少年センター<br/>学校関係者(養護教諭)<br/>PTA連合会<br/>助産師会</p>   |            |



|                               |   |   |   |
|-------------------------------|---|---|---|
| <p><b>第5章 うるま市健やか親子21</b></p> | <p>基本目標4<br/>親や子どもの多様性を尊重し、それと並んで、児童虐待のない地域づくり</p> <p>1：親が地域から支えられていると実感し、喜びを感じながら子育てができる</p> <p>2：育てにくさを感じた時に対処できる親が増える</p> <p>3：子どもに対する虐待や不適切なかわりを防ぐことができる</p>  | <p><b>市民の健康づくりを支える取り組み</b></p> <p>母子（親子）健康手帳の交付をスタートに、切れ目ない情報提供ならびに支援に努めます。</p> <p>うるま市こどもの健康応援BOOK「だいすき」を通じて、子育てに関する情報を提供します。</p> <p>関係課や関係機関との連携を強化し、子育て家庭を支援します。</p> <p>乳幼児健診の受診率向上に努めるとともに、健康診査未受診者への訪問・連絡を行います。</p> <p>親が安心して子育てを楽しむことができるように、子どもの発達段階や特性、より良い関わり、地域にある資源や制度について知り、学べる機会を提供します。</p> <p>臨床心理士などによる相談体制を充実します。</p> <p>身体的、精神的、経済的、社会的な支援が必要な世帯を妊娠前から把握し、適切な支援を包括的に提供できるよう努めます。</p> <p>母子保健事業を通して支援が必要な世帯の把握並びに支援を行います。</p> <p>地域、保育所や学校、医療機関等と連携し、児童虐待の予防及び早期発見、早期対応に努めます。</p> | <p><b>主な関係団体と関係課</b></p> <p>こども健康課<br/>保育幼稚園課<br/>児童家庭課<br/>こども未来課<br/>保育園<br/>子育て支援センター<br/>児童センター<br/>教育委員会（学務課、指導課）<br/>学校関係者<br/>社会福祉協議会（民生委員）<br/>母子保健推進員<br/>医療機関<br/>助産師会</p>  |
| <p><b>第6章 うるま市食育推進計画</b></p>  | <p>(1)<br/>多様な暮らし及びライフスタイルへの対応</p>  | <p>食育の日（毎月19日）及び食育月間（6月）に関する周知の充実に努めます。</p> <p>ライフステージに応じて市民が食に関する関心を高める、食育を学ぶ機会の充実に努めます。</p> <p>食生活改善推進員の養成・育成を行います。</p> <p>災害の発生に備えた飲料水や食料品の備蓄の重要性について周知します。</p> <p>保育所、幼稚園、小中学校における食育と連携し、地域と世代をつなぐ食育を展開します。</p> <p>地域と連携しながらコミュニケーションや豊かな食体験にもつながる共食の機会の提供に努めます。</p> <p>食生活改善推進員と連携し、地域における食育の充実を図ります。</p> <p>地域、関係機関等と連携し、食事をとることに困難を抱える家庭等に対して、共食の場の提供等を通じた子どもの居場所づくりに努めます。</p>   | <p>健康支援課<br/>農政課<br/>こども健康課<br/>こども未来課<br/>児童家庭課<br/>保育園<br/>保育所<br/>学務課<br/>指導課<br/>学校給食センター<br/>幼稚園<br/>小中学校<br/>生涯学習振興課<br/>農政課<br/>商工観光課<br/>国民健康保険課<br/>市民協働課<br/>介護長寿課<br/>防災基地課<br/>母子保健推進協議会<br/>食生活改善推進協議会<br/>子育て支援センター<br/>児童館<br/>児童クラブ<br/>学童ミニリサーチサポートセンター<br/>助産師会<br/>PTA連合会<br/>商工会<br/>女性連合会<br/>青年会<br/>老人会<br/>自治会<br/>社会福祉協議会<br/>赤十字奉仕団</p> |
| <p>(2)<br/>食の循環や環境への配慮</p>    | <p>「うるま市農業振興ビジョン」と連携し、地産地消を推進します。</p> <p>「うるまの幸御膳」などうるま市産、県産食材を使用した料理実習の開催、地産地消しシビなどの情報提供を行います。</p> <p>保育所給食や学校給食において、うるま市産、県産食材の利用促進に努めます。</p> <p>「産業まつり」などのイベントや、「もずくの日」などの農水産物記念日におけるフェアを通じて、地場産物の周知を図ります。</p> <p>こども達が食の安全性について考え、正しい知識を得ることのできる学習機会を提供します。</p> <p>食育に関するイベントを通して地産地消、食の循環、食品ロス等について普及啓発を行います。</p> <p>食品の適切な保管方法や食品表示制度に関する情報提供を行います。</p> | <p>健康支援課<br/>こども健康課<br/>こども未来課<br/>児童家庭課<br/>保育園<br/>保育所<br/>学務課<br/>指導課<br/>学校給食センター<br/>幼稚園<br/>小中学校<br/>生涯学習振興課<br/>農政課<br/>農業委員会<br/>商工観光課<br/>国民健康保険課<br/>環境課<br/>食生活改善推進協議会<br/>子育て支援センター<br/>児童館<br/>児童クラブ<br/>学童ミニリサーチサポートセンター<br/>PTA連合会<br/>商工会<br/>JAおきなわ<br/>漁業協同組合<br/>農業青年クラブ<br/>青年会<br/>老人会<br/>自治会<br/>社会福祉協議会<br/>中部保健所</p>   |   |



|  | 市民の健康づくりを支える取り組み  | 主な関係団体と関係課   |
|--|---|--|
| <p>(3)<br/>食文化の継承</p> <p><b>第6章 うるま市食育推進計画</b></p> | <p>食文化を継承していく取り組みとして、うるま市食生活改善推進員等、地域のボランティアとの連携を図り、料理教室等の食育イベントなどにおいて、地域に伝わる食文化に触れる機会や食に関する情報提供等、継承するための取り組みを推進します。</p> <p>保育所、幼稚園、小中学校の給食で郷土食、行事食を提供します。</p> <p>「健康フェスタ」などイベントを通じた郷土料理等に関する情報発信を行います。</p> | <p>健康支援課<br/>健康課<br/>こども未来課<br/>児童家庭課<br/>保育幼稚園課<br/>保育所<br/>学務課<br/>指導課<br/>学校給食センター<br/>幼稚園<br/>小中学校<br/>生涯学習振興課<br/>農政課<br/>農業委員会<br/>商工観光課</p> <p>食生活改善推進協議会<br/>子育て支援センター<br/>児童館<br/>児童クラブ<br/>ファミリーサポートセンター<br/>PTA連合会<br/>商工会<br/>JAおきなわ<br/>漁業協同組合<br/>農業青年クラブ<br/>豊後村生活研究会<br/>青年会<br/>老人会<br/>自治会<br/>社会福祉協議会</p> |

